

# EQUALIZER

Equalizer E250si/E350si/E450si

簡易設定マニュアル  
初期設定～L4 クラスタ作成編  
v7.2.0d 以降  
第 1.2 版



***Networld***



本書の内容は予告なく変更することがあります。  
本書の内容について(株)ネットワークは如何なる責任を負うものではありません。  
本書の内容の無断転写はできません。  
本書での設定方法につきまして、ご利用環境での動作を保証するものではありません。

Copyright© 2005-2006 Networkworld Corporation All rights reserved.

Equalizer™ は米 Coyote Point Systems, Inc. の登録商標です。

# Equalizer E250si/E350si/E450si 簡易設定マニュアル

## 初期設定～L4 クラスタ作成編

設定にあたっての注意・・ 3

### シリアル接続での設定

- ( 1 ) Equalizer へログインする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ( 2 ) インターフェースの設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- ( 3 ) タイムゾーンの設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- ( 4 ) 日付と時刻の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- ( 5 ) 設定の反映・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

### ブラウザからの設定

- ( 1 ) 全般設定
  - 1 . ログインする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 0
  - 2 . パスワードの変更・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 1
  - 3 . イベントパラメータの設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 2
  - 4 . システムパラメータ設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 3
  - 5 . フェイルオーバーの設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 4
- ( 2 ) クラスタの設定
  - 1 . クラスタの追加・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 7
  - 2 . サーバの追加・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 0
  - 3 . サーバの削除・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 2
  - 4 . クラスタの削除・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 4
- ( 3 ) 設定情報のバックアップ/リストア
  - 1 . バックアップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 6
  - 2 . リストア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 7

# 設定にあたっての注意

## 1. シリアル接続時の設定における注意

- 1) 設定機器との接続には必ず付属のシリアルケーブルをお使い下さい。
- 2) Windows に付属のハイパーターミナルでは設定できない場合があります。  
市販またはフリーソフトのターミナルエミュレーションソフトウェアをお使い下さい。
- 3) 日本製のターミナルエミュレーションソフトウェアを使用するとメニュー枠が正しく表示されない場合がありますが設定に影響はありません。

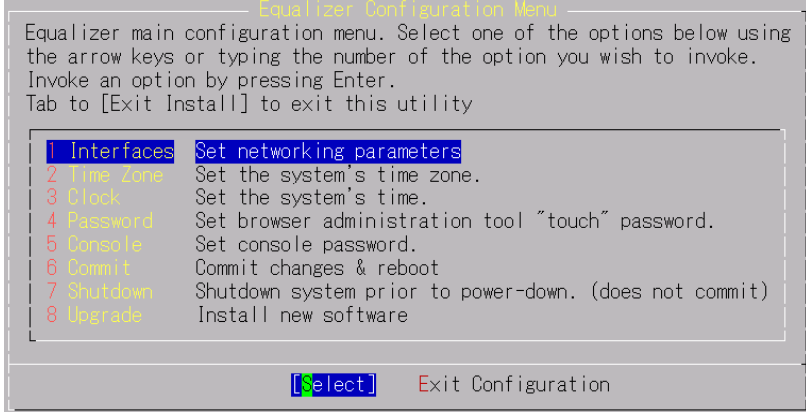
[ 日本製 TeraTeam Pro での表示例 ]

```
◆○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ Equalizer Configuration Menu ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○&
☒ Equalizer main configuration menu. Select one of the options below using ☒
☒ the arrow keys or typing the first letter of the option you wish to invoke. ☒
☒ Invoke an option by pressing Enter. ☒
☒ Tab to [Exit Install] to exit this utility ☒
☒ ◆○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○&
☒ ☒ 1 Usage Quick start - How to use this menu system ☒ ☒
☒ ☒ 2 Doc Configuring networks, setting parameters, etc ☒ ☒
☒ ☒ 3 Interfaces Set networking parameters ☒ ☒
☒ ☒ 4 Time Zone Set the system's time zone. ☒ ☒
☒ ☒ 5 Clock Set the system's time. ☒ ☒
☒ ☒ 6 Password Set browser administration tool "touch" password. ☒ ☒
☒ ☒ 7 Console Set console password. ☒ ☒
☒ ☒ 8 Commit Commit changes & reboot ☒ ☒
☒ ☒ 9 Shutdown Shutdown system prior to power-down. (does not commit) ☒ ☒
☒ ☒ 10 Upgrade Install new software ☒ ☒
☒ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○&
◆○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○◆
☒ [Select] Exit Configuration ☒
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○&
```

## 2. ブラウザからの設定時における注意

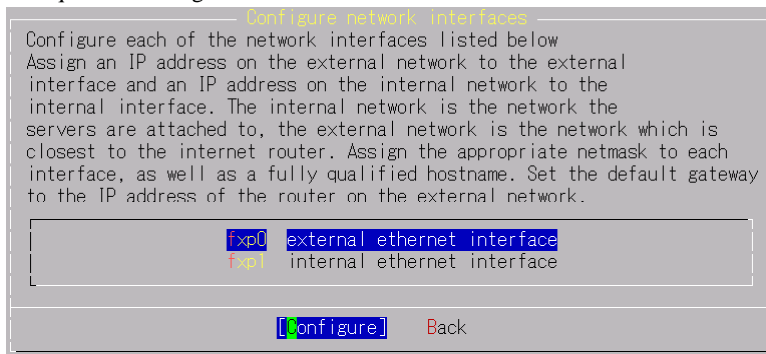
- 1) お使いのブラウザによっては設定画面が正しく表示されない場合があります。  
正しく動作する確認がされているブラウザは以下の通りです。
  - Internet Explorer 5.5 / 6
  - Firefox v1.0.x / 1.5
- 2) Equalizer へ接続するときは External へアクセスしてください。  
Internal へアクセスすると設定画面が表示されない場合があります。
- 3) ブラウザの更新（リロード、再読み込み）ボタンは使用しないでください。  
設定が2重に反映される場合があります。
- 4) ブラウザからの設定ではシリアル接続時に設定した項目を変更できません。

# シリアル接続での設定

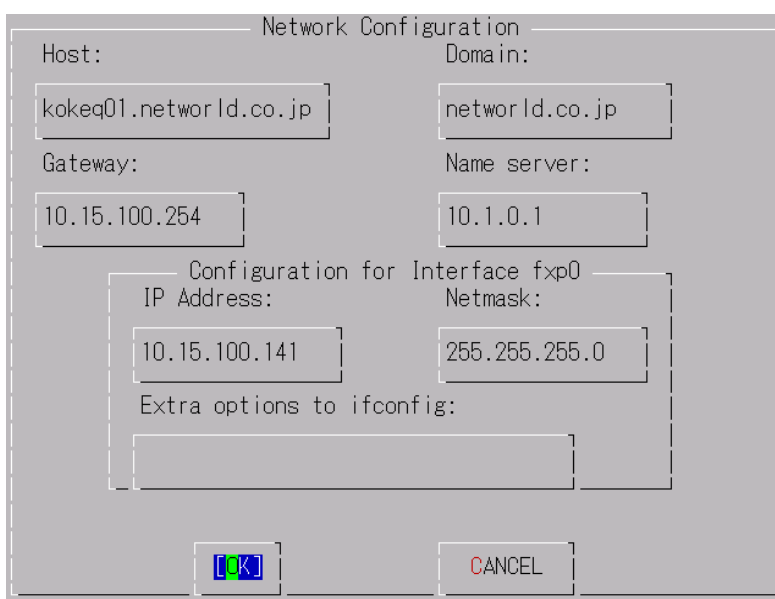
1	Equalizerへログインする。	<ul style="list-style-type: none"><li>Equalizer と設定用 PC を付属シリアルケーブルで接続します。</li><li>設定用 PC でターミナルソフトを起動します。</li></ul> <p>シリアルポートとの設定は下記の通りです。</p> <p>ボーレート・・・9600 データビット・・・8 パリティ・・・なし ストップビット・・・1 フロー制御・・・なし エミュレーションモード... VT100</p> <p>Equalizer の電源を入れます。すでに起動している場合は「Enter」を押してください。</p> <pre>FreeBSD (customer.eq.com) (ttyd0)</pre> <p>login:</p> <p>ユーザ名/パスワードを入力し Equalizer へログインします。</p> <p>ユーザ名 : eqadmin パスワード : equalizer (初期値)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>「Equalizer Configuration Menu」が表示されます。</li></ul> 
---	-------------------	---

2 インターフェースの設定

- ・「Equalizer Configuration Menu」から「1 Interfaces」を選択します。



- ・ External 側から設定を行います。  
そのまま「Enter」を押します。
- ・ External 側の設定を行います。

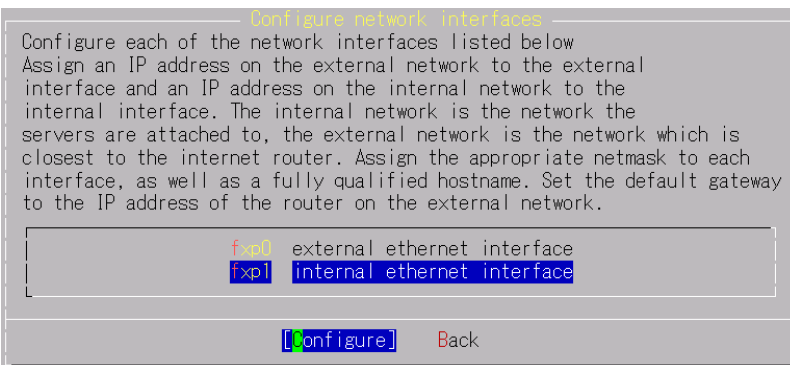


- [Host:]  
Equalizer のホスト名を FQDN でドメインも含めて記入します。
- [Domain:]  
Equalizer のドメイン名を入力します。
- [Gateway]  
Equalizer のゲートウェイを入力します。(ルータ等)
- [Name server:]  
DNS サーバアドレスを入力します。  
利用しない場合は「0.0.0.0」と入力します。
- [IP Address:]  
External に割り振る IP アドレスを入力して下さい。  
**Single Network構成時は「空欄」となります**
- [Netmask:]  
割り振った IP アドレスのサブネットマスクを入力します。
- [Extra optoins to ifconfig:]  
インターフェース速度の固定など、追加設定を行います。  
通常は空欄で問題ありません。

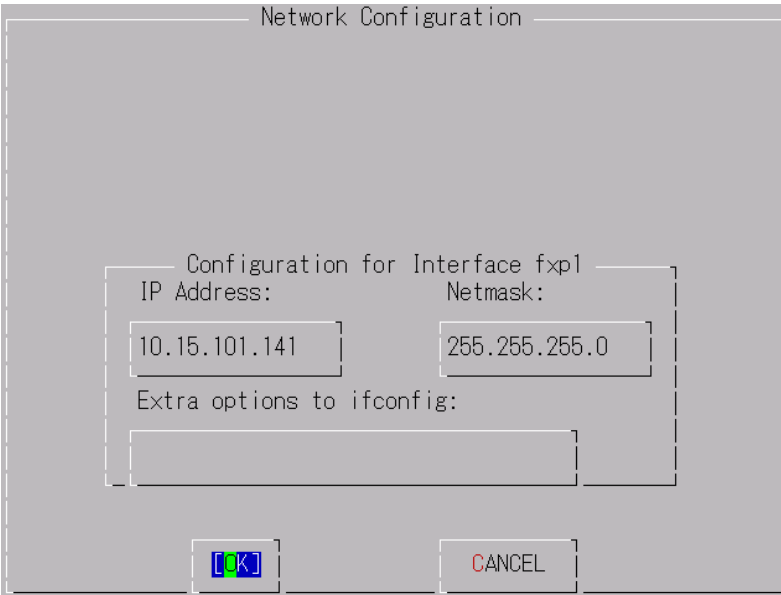
入力後、「OK」へカーソルを合わせ Enter を押します。

2 インターフェースの設定  
( 続き )

- ・ 前画面へ戻ります。  
「 fxp1 」を選択し「 Enter 」を押します。



- ・ Internal 側の設定を行います。



[ IP Address: ]

Internal に割り振る IP アドレスを入力します。

[ Netmask: ]

割り振った IP アドレスのサブネットマスクを入力します。

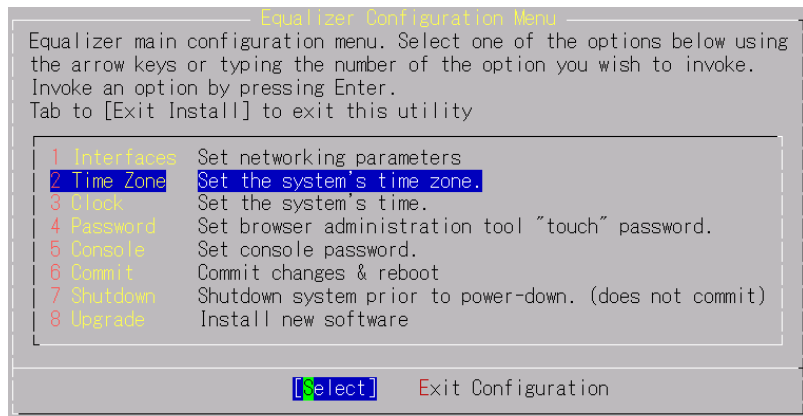
[ Extra options to ifconfig: ]

インターフェース速度の固定など、追加設定を行います。  
通常は空欄で問題ありません。

入力後、「 OK 」へカーソルを合わせ Enter を押します。

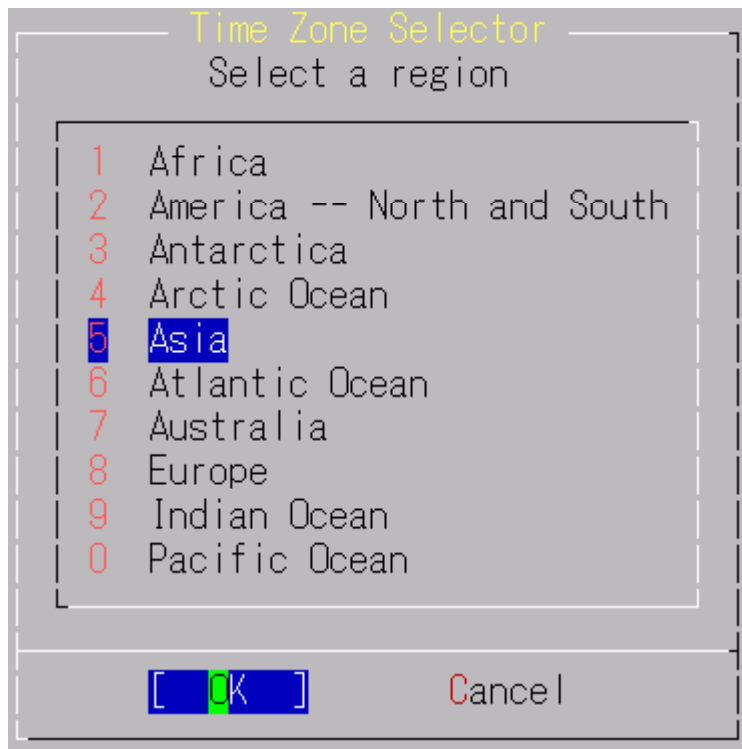
3 タイムゾーンの設定

・「Equalizer Configuration Menu」から「4 Timezone」を選択します。


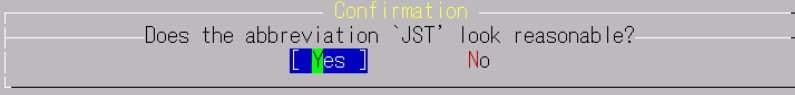
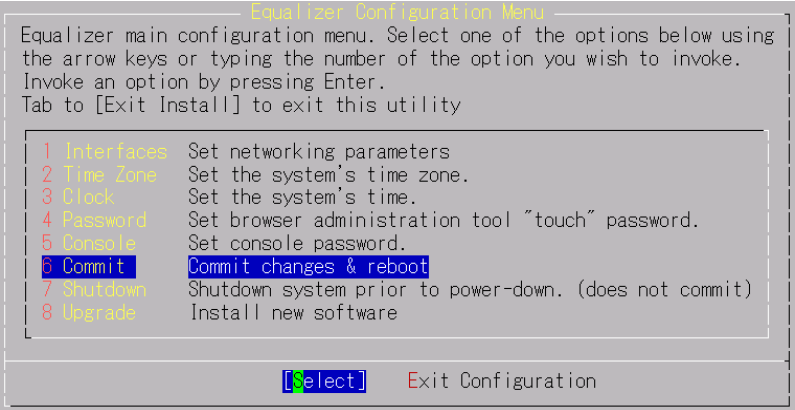


・地方を選択します。

[Asia] にカーソルを合わせて「Enter」を押してください。





3	タイムゾーンの設定( 続き )	<p>・ 国を選択します。 [Japan]にカーソルを合わせて「Enter」を押してください。</p>  <p>・ カーソルを [yes] に合わせて「Enter」を押してください。</p>  <p><b>タイムゾーンと日付・時間の設定は同時に行うことが出来ません。日付・時間は初期設定が終了し再起動後に設定します。</b></p>
4	設定の反映	<p>・ 設定を保存して再起動します。</p> 

5	日付と時刻の設定	<ul style="list-style-type: none"><li>再起動後、root ユーザでログインします。</li><li>プロンプトより date コマンドを入力し、日付・時間を設定します。</li></ul> <pre>root@kokeq01# root@kokeq01# date 200510011400 Sat Oct 1 14:00:00 JST 2005 root@kokeq01# █</pre> <p>【date コマンド書式】 date YYYYMMDDHHMM YYYY: 年(西暦) MM : 月 DD : 日 HH : 時 MM : 分</p> <ul style="list-style-type: none"><li>入力後、「exit」を入力しログインプロンプトへ戻ります。</li></ul> <p>以上で初期設定は終了です。</p>
---	----------	--

# ブラウザからの設定

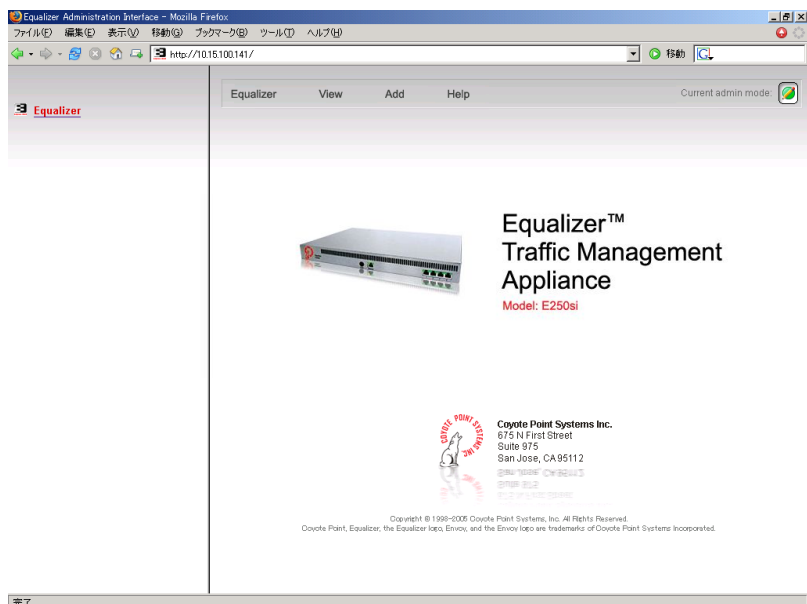
## 1 1 . ログインする

- ・ ブラウザから Equalizer へアクセスします。  
アドレスは Equalizer の External / Internal の IP アドレスです。

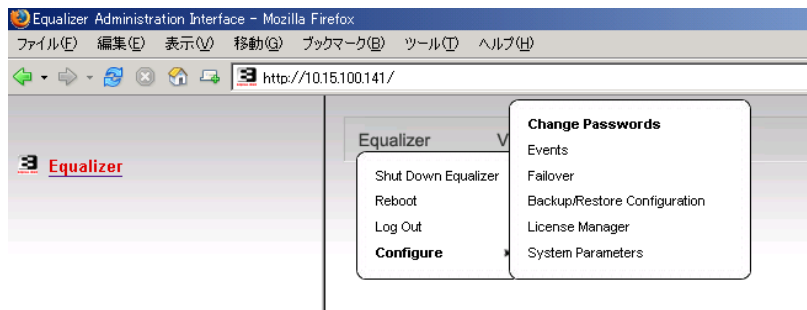


Username : touch  
Password : touch ( 初期値 )

- ・ ログインに成功するとこの画面になります。



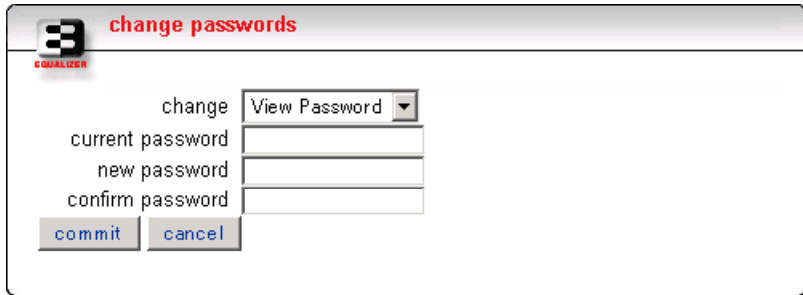
- ・ 設定変更メニュー



右側ウィンドウ左上の「Equalizer」にマウスカーソルを乗せると、プルダウンメニューが表示されます。ここに各種設定項目があります。

1

2 . パスワードの変更  
[Equalizer]  
[Configure]  
[Change Passwords]



・パスワードの変更を行います。

[change]

パスワードを変更するユーザを選択します。

View Password (ユーザ名 : look)

Edit Password (ユーザ名 : touch)

[current password]

現在のパスワードを入力します。

[new password]

新しいパスワードを入力します。

[confirm password]

新しいパスワードを再入力します。

入力後 [ commit ] をクリックします。

1 3 . イベントパラメータの  
設定  
[ Equalizer ]  
[ Configure ]  
[ Events ]

event configuration

event logging

use remote syslog

syslog host loghost

commit cancel

event handling

command to run on server event

commit cancel

email event notification

enable email notification

from

to

SMTP server

commit cancel

[ Event Logging ]

- ・ イベントが発生したときに syslog サーバへログを送信できます。  
使用する場合、 [ Use remote Syslog ] にチェックを入れ、 [ Syslog Host: ] に syslog サーバの IP アドレスを入力します。  
入力後、 [ commit ] をクリックします。

[ Event Handling ]

- ・ イベントが発生した場合、Equalizer 上で入力したコマンドを実行することができます。  
入力後、 [ commit ] をクリックします。

[ email event notification ]

- ・ イベントが発生した場合、指定者へアラートメールを送信することができます。  
使用する場合、 [ enable email notification ] にチェックを入れ、各項目を入力します。  
from : 送信者とするメールアドレスを入力します  
to : 送信先のメールアドレスを入力します  
SMTP server : メール送信に利用するSMTPサーバを入力します。

1 4 . システムパラメータの  
設定  
[ Equalizer ]  
[ Configure ]  
[ System Parameters ]

sequence 143  
send buffer 16  
receive buffer 4  
connect timeout 10.0  
client timeout 5.0  
server timeout 60.0  
probe interval 20.0  
probe timeout 10.0  
strikeout threshold 2  
log hours 0  
plot clip 0  
cycle time 5.000  
probe delay 10.0  
idle timeout 0.0  
stale timeout 15.0  
sticky netmask  
command  
from  
to  
server  
event\_flags enable email   
flags  
enable outbound NAT   
passive FTP translation   
pedantic agent   
ICMP probe   
no plot   
no outbound RST   
commit show defaults cancel

- ・システムパラメータの設定を行います。  
ここで説明する3項目以外は、通常設定を変更する必要はありません

[ Sticky Network ]

- ・サブネットマスク単位でセッション維持を行う場合に設定します。TCP/UDP クラスタのみ有効です。
- ・ネットマスクは「 off / class C / class B / class A 」の3種類あります。

[ enable outbound NAT ]

- ・Dual Network 構成時、Equalizer 配下のサーバからの通信において、Equalizer を通過する際にサーバ IP を Equalizer の External アドレスに変換する場合、チェックを入れます。  
**Single Network 構成時はチェックを入れないでください**

[ Passive FTP Translation ]

- ・パッシブ FTP を使った通信を行う場合、チェックを入れます。

入力後、[commit]をクリックします。

1 5 . フェイルオーバーの  
設定  
[ Equalizer ]  
[ Configure ]  
[ Failover ]

failover configuration

configure failover aliases

internal address 10.15.101.140  
internal netmask  
external address  
external netmask

dual network mode

failover timing

receive timeout 0.6  
connection timeout 0.5  
probe interval 5.0

failover peers

Create entries for each system (peer) in a failover group.

peer create new

peer name  
internal address  
external address

flags preferred primary

show defaults commit delete cancel

フェイルオーバーの設定を行います。

ここで説明する項目以外は、通常設定を変更する必要はありません

**同一設定をPrimary/Backup両機器に対して行います**

configure failover aliases

Equalizer の冗長時に必要な仮想 IP の設定を行います。

[ internal address / internal netmask ] 旧 Failover Gateway

- ・ クラスタ内サーバ群のデフォルトゲートウェイとなる IP アドレスとサブネットマスクをを入力します。

**Equalizerの実IPやクラスタIPとの共有はできません。**

[ external address / external netmask ]

- ・ こちらの項目は入力の必要がありません。

1	<p>5 . フェイルオーバーの設定 ( 続き )</p> <p>[Equalizer] [Configure] [Failover]</p>	<p>failover peers 両方の Equalizer インターフェースアドレスを登録します。</p> <p>[peer name] ・ 任意の名前を設定します。</p> <p>[external] ・ External 側の IP アドレスを入力します。</p> <p>[internal] ・ Internal 側の IP アドレスを入力します。</p> <p>[flags preferred primary] ・ 通常 Primary として稼働させる機器側にチェックを入れます。</p> <p>Primary 機器情報の入力例</p> <div data-bbox="609 607 1415 1061" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>failover peers</p> <p style="text-align: center;">Create entries for each system (peer) in a failover group.</p> <p style="text-align: right;">peer <input type="button" value="create new"/></p> <p>peer name <input type="text" value="Primary"/></p> <p>internal address <input type="text" value="10.15.100.141"/></p> <p>external address <input type="text" value="10.15.101.141"/></p> <p>flags <input type="checkbox"/> preferred primary <input checked="" type="checkbox"/></p> </div> <p>Backup 機器情報の入力例</p> <div data-bbox="609 1160 1415 1615" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>failover peers</p> <p style="text-align: center;">Create entries for each system (peer) in a failover group.</p> <p style="text-align: right;">peer <input type="button" value="create new"/></p> <p>peer name <input type="text" value="Backup"/></p> <p>internal address <input type="text" value="10.15.100.142"/></p> <p>external address <input type="text" value="10.15.101.142"/></p> <p>flags <input type="checkbox"/> preferred primary <input type="checkbox"/></p> </div>
---	---	--




1	<p>5 . フェイルオーバーの設定 ( 続き )</p> <p>[ Equalizer ]</p> <p>  [ Configure ]</p> <p>    [ Failover ]</p>	<p>設定が正しく反映された場合は、 peer に両機器の情報が表示されます。</p> <p>failover peers</p> <p style="text-align: center;">Create entries for each system (peer) in a failover group.</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>peer <span style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">Backup ▾</span></p> <p style="margin-left: 100px;">Primary</p> <p style="margin-left: 100px;">Backup</p> <p>peer name <span style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">create new</span></p> <p>internal address <span style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">10.15.100.142</span></p> <p>external address <span style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">10.15.101.142</span></p> <p>flags <span style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">preferred primary <input type="checkbox"/></span></p> </div>
---	---	--

- 2 クラスタの設定  
1. クラスタの追加

・ 右側フレーム上の「ADD」上へマウスカーソルをのせます。プルダウンメニューが出ますので [ ADD Cluster ] をクリックします。



ADD Cluster

 **add cluster**

cluster name

protocol

ip

port

policy

responsiveness

sticky time

ACV probe

ACV response

server agent port

flags

advanced

disable

server\_agent

inter-cluster sticky

probe ssl

[ Cluster Name ]

・ クラスタ（サーバ群）を識別する名前を入力します。

[ Protocol ]

・ クラスタ（サーバ群）が受け付けるプロトコルを TCP/UDP より選択します。

[ ip / port ]

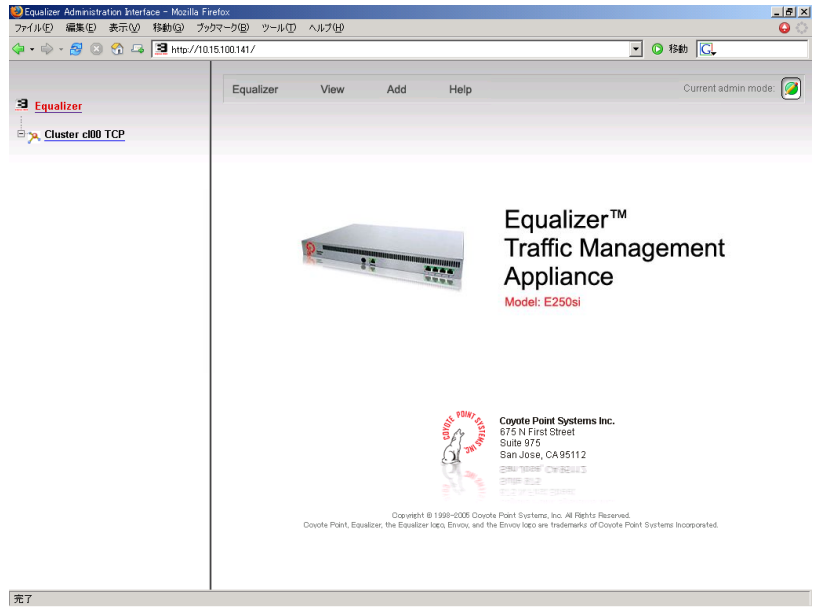
・ クラスタ（サーバ群）に割り当てる仮想 IP アドレスとポート番号を入力します。

2	1 . クラスタの追加( 続き )	<p>[policy]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロードバランスの方式を選択します。</li> </ul> <p>[responsiveness]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロードバランスの柔軟性を選択します。 Dynamic Weight 値の変動に影響します。 「slowest」最も変動しにくい 「fastest」最も変動しやすい</li> </ul> <p>[sticky time]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セッションを維持する時間を入力します。</li> </ul> <p>[ACV probe]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンテンツチェックによるヘルスチェックを行う場合、Web サーバへ送信するリクエストを入力します。 http/https のみ対応</li> </ul> <p>[ACV response]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ACV probe で送信したリクエストのレスポンス中に含まれる文字列を指定します。この文字列が含まれていた場合、ACV は成功となります。</li> </ul> <p>[server agent port]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こちらの値は「0」で固定となります。</li> </ul> <p>[flags]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オプション設定を行います。 ここで説明する 2 項目以外は、通常変更する必要はありません</li> </ul> <p>intercluster-sticky</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスタ間でのセッション維持を行う場合、チェックを入れます。</li> </ul> <p>( 例 ) サーバが 2 台、クラスタが http、https で、 クラスタは違うが同一サーバへ接続したい場合。</p> <p>probe_ssl</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SSL ハンドシェイクによるヘルスチェックを行う場合、チェックを入れます。</li> </ul> <p>入力後、[commit]をクリックします。</p>
---	-------------------	--

2

1 . クラスタの追加( 続き )

・ クラスタが追加されました。



Equalizer Administration Interface - Mozilla Firefox

Equalizer View Add Help Current admin mode

Equalizer™  
Traffic Management  
Appliance  
Model: E250si

**Coyote Point Systems Inc.**  
675 N First Street  
Suite 975  
San Jose, CA 95112

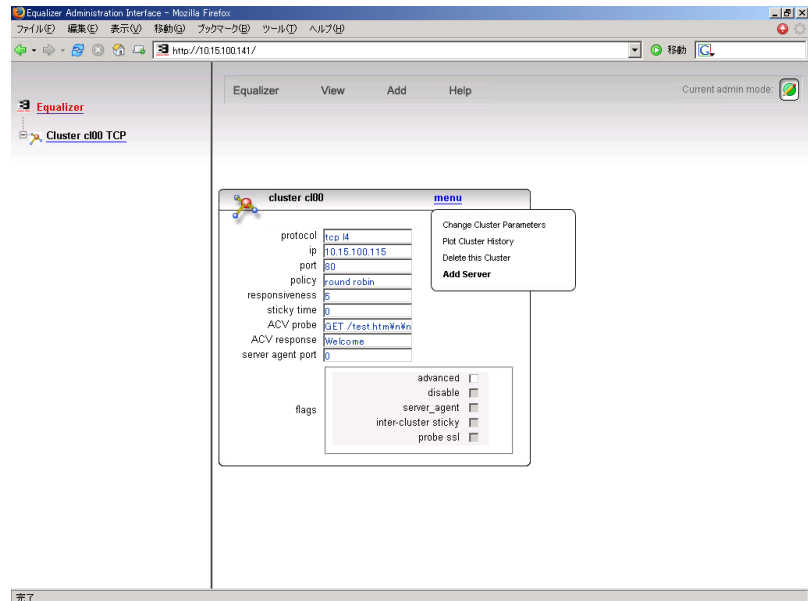
Copyright © 1999-2006 Coyote Point Systems, Inc. All Rights Reserved.  
Coyote Point, Equalizer, the Equalizer logo, Envoy, and the Envoy logo are trademarks of Coyote Point Systems Incorporated.

完了

2

## 2 . サーバの追加

- ・ 左側フレーム中のサーバを追加したいクラスタをクリックします。
- ・ クラスタの詳細情報が表示されますので、ウィンドウ右上の [Menu] にマウスカーソルをのせます。
- ・ プルダウンメニューが出ますので [Add Server] をクリックします。



## Add Server

**add server sv00 to cluster c100**

server name	<input type="text" value="sv01"/>
ip	<input type="text" value="10.15.101.161"/>
port	<input type="text" value="80"/>
weight	<input type="text" value="100"/>

flags	<input type="checkbox"/> advanced <input type="checkbox"/> hot spare <input type="checkbox"/> quiesce
-------	---

[server name]

- ・ サーバを識別する名前を入力します。

[ip]

- ・ クラスタに登録するサーバの IP アドレスを入力します。

[port]

- ・ クラスタと同一に設定されています。
- ・ ポートリダイレクションを行う場合は、任意のポート番号を入力します。

[weight]

- ・ サーバの静的重み付けを入力します。

2

## 2 . サーバの追加 ( 続き )

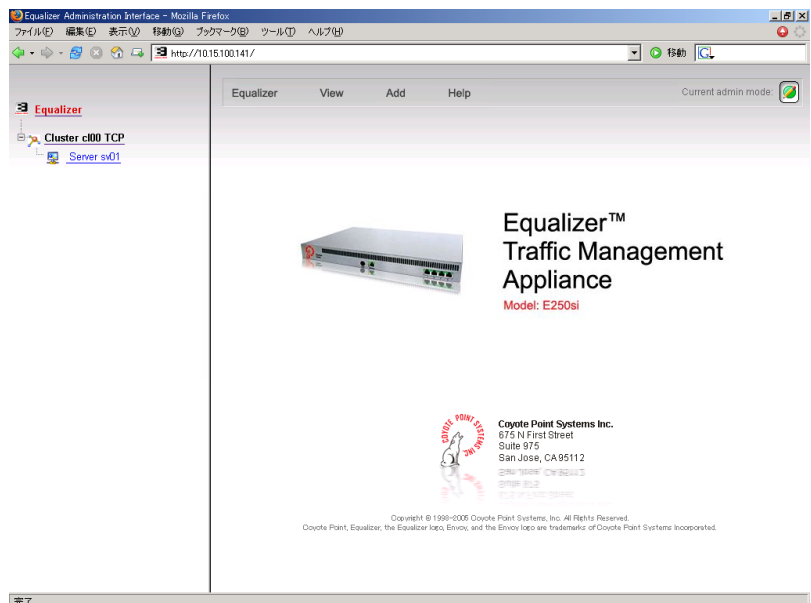
### [ Hot Spare ]

- ・サーバをスペアにする場合、チェックを入れます。
- ・この設定を ON にした場合、ON に設定されていないサーバがすべてダウンまでリクエストは割り振られません。

### [ quiesce ]

- ・サーバをメンテナンスモードにする場合、チェックを入れます。
- ・この設定を ON にした場合、新規リクエストは割り振られません。既存セッションはそのまま維持されます。

入力後、[ commit ]をクリックします。

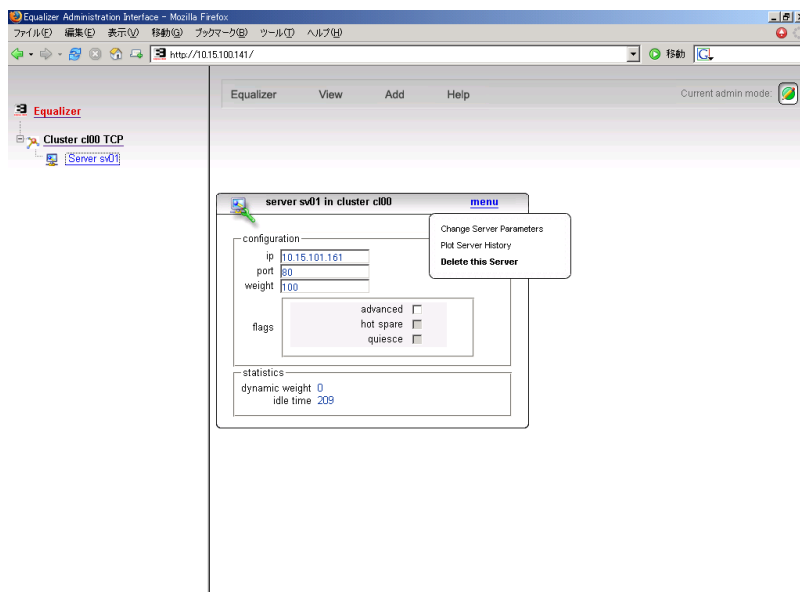


- ・サーバが追加されました。

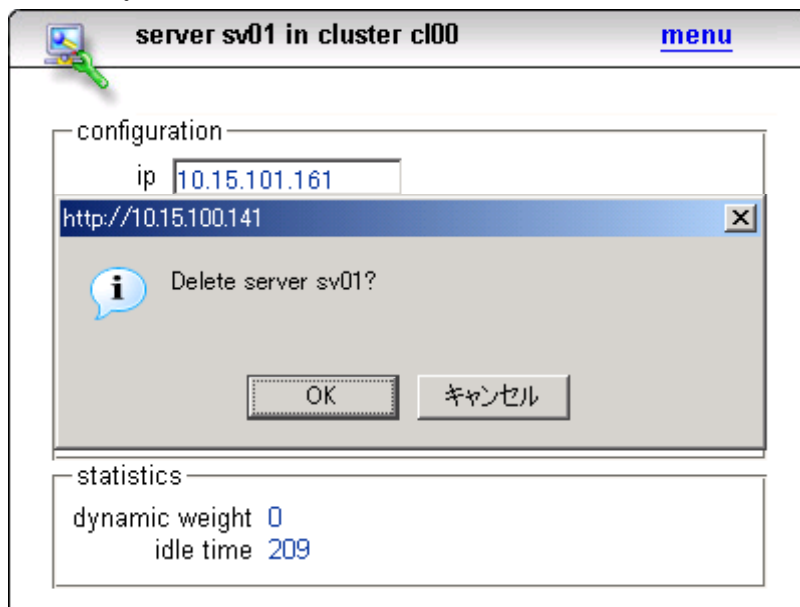
2

### 3 . サーバの削除

- ・ 左側フレーム中の削除したいサーバをクリックします。
- ・ サーバの詳細情報が表示されますので、ウィンドウ右上の [Menu] にマウスカーソルをのせます。
- ・ プルダウンメニューが出ますので [Delete this Server] をクリックします。



- ・ 確認画面が出ますので削除しても良ければ [OK] をクリックします。



2

3 . サーバの削除 ( 続き )

・サーバが削除されました。

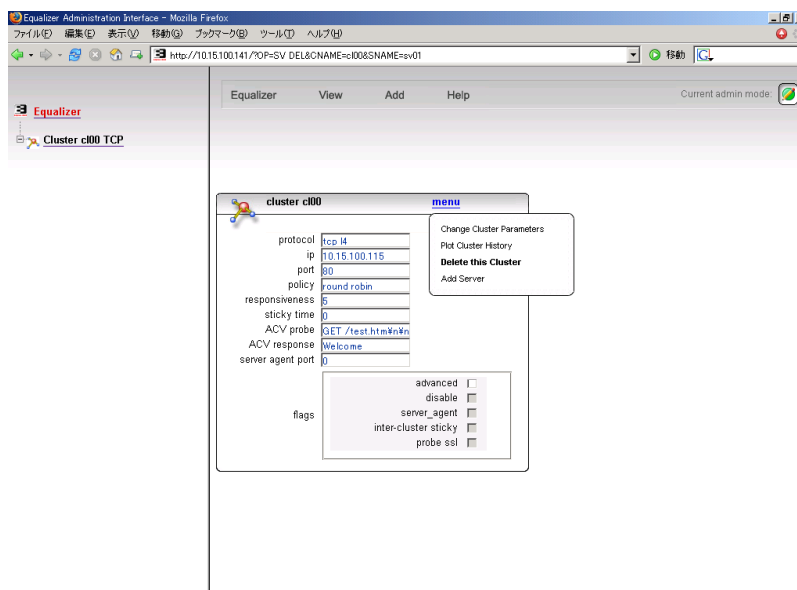
The screenshot shows the Equalizer Administration Interface in a Mozilla Firefox browser window. The address bar displays the URL: `http://10.15.100.141/90P=SV DEL&CNAME=c100&SNAME=sv01`. The interface includes a navigation menu with 'Equalizer', 'View', 'Add', and 'Help' options. A sidebar on the left shows 'Cluster c100 TCP'. The main content area features a confirmation message: 'Equalizer™ Traffic Management Appliance Model: E250si'. Below this is an image of the appliance and the Coyote Point Systems Inc. logo and contact information: '675 N First Street, Suite 975, San Jose, CA 95112'. At the bottom, there is a copyright notice: 'Copyright © 1999-2005 Coyote Point Systems, Inc. All Rights Reserved. Coyote Point, Equalizer, the Equalizer logo, Envoke, and the Envoke logo are trademarks of Coyote Point Systems Incorporated.'

完了

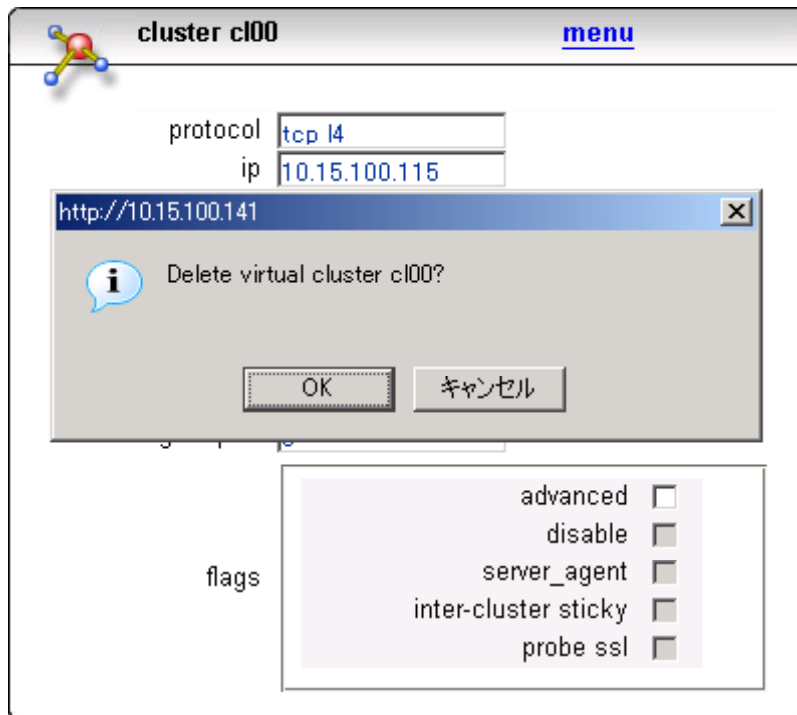


2 4 . クラスタの削除

- ・ 左側フレーム中の削除したいクラスタをクリックします。
- ・ クラスタの詳細情報が表示されますので、ウィンドウ右上の [Menu] にマウスカーソルをのせます。
- ・ プルダウンメニューが出ますので [Delete This Cluster] をクリックします。



- ・ 確認画面が出ますので、削除しても良ければ [OK] をクリックします。



2

4 . クラスタの削除  
( 続き )

・クラスタが削除されました。

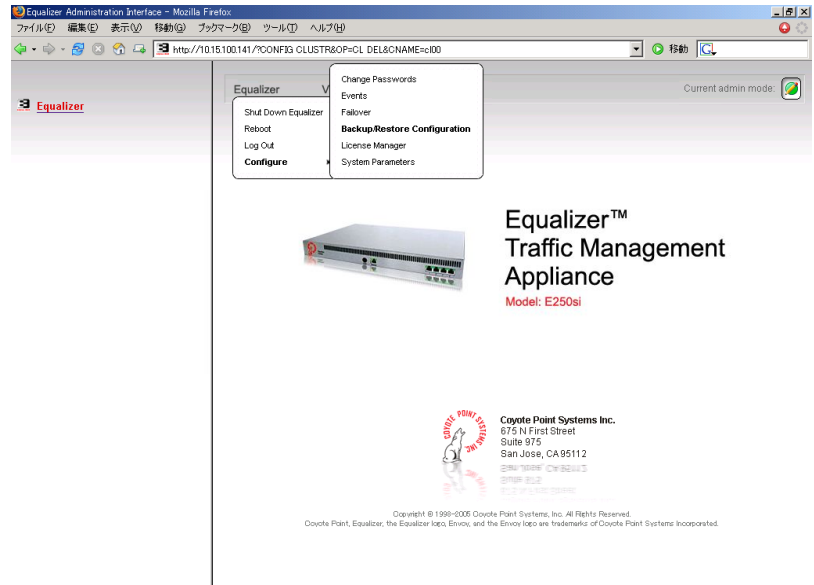
The screenshot shows a web browser window titled "Equalizer Administration Interface - Mozilla Firefox". The address bar contains the URL "http://10.15.100.141/900NF3G\_CLUSTER&OP=CL\_DEL&NAME=c100". The browser's menu bar includes "ファイル(F)", "編集(E)", "表示(V)", "移動(M)", "ブックマーク(B)", "ツール(T)", and "ヘルプ(H)". The page content features a navigation menu with "Equalizer", "View", "Add", and "Help" options, and a "Current admin mode:" indicator with a green checkmark. The main content area displays a confirmation message: "・クラスタが削除されました。". Below this is an image of the "Equalizer™ Traffic Management Appliance Model: E250si". To the right of the image, the text reads "Equalizer™ Traffic Management Appliance Model: E250si". At the bottom, the Coyote Point Systems Inc. logo and contact information are visible: "Coyote Point Systems Inc. 675 N First Street Suite 975 San Jose, CA 95112". A small copyright notice at the very bottom states: "Copyright © 1999-2005 Coyote Point Systems, Inc. All Rights Reserved. Coyote Point, Equalizer, the Equalizer logo, Envoke, and the Envoke logo are trademarks of Coyote Point Systems Incorporated."

完了

3

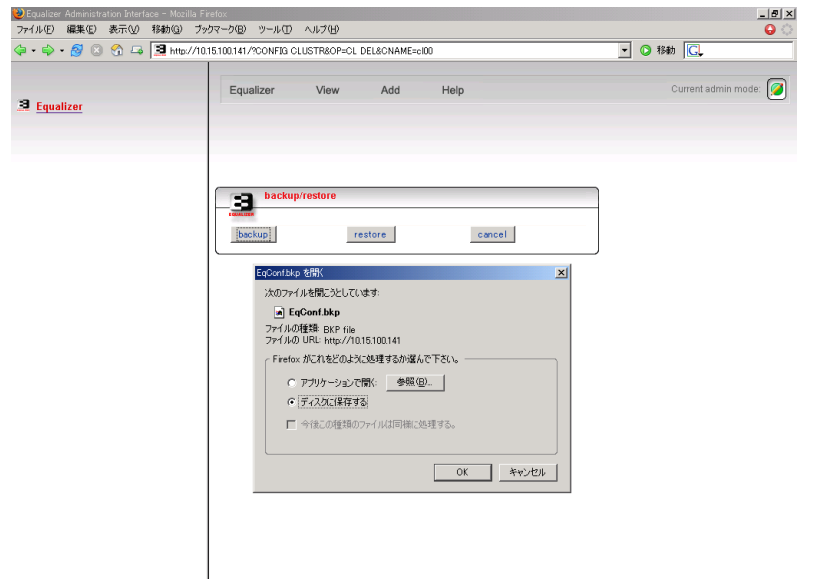
設定情報の  
バックアップ/リストア  
1. バックアップ

- ・ 右側フレーム上の [Equalizer] 上へマウスカーソルをのせます。
- ・ プルダウンメニューが出ますので [Configure] [Backup/Restore Configuration] の順にクリックします。



完了

- ・ クリックすると、設定情報バックアップ/リストアのページが表示されます。

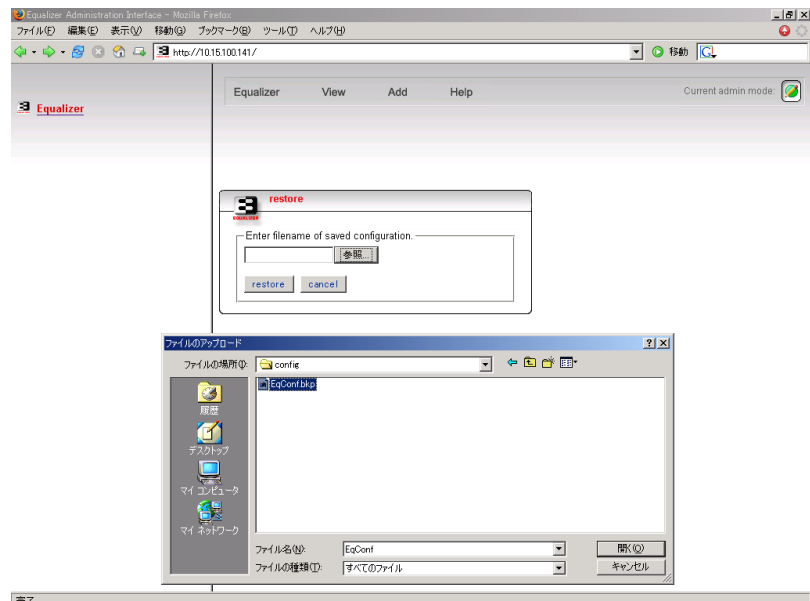


完了

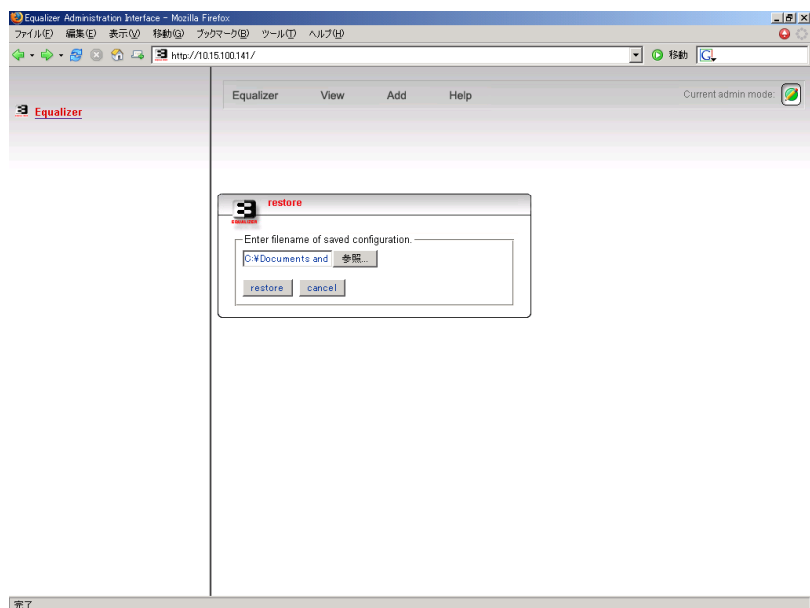
- ・ ウィンドウ内の [backup] をクリックすると、設定ファイルをダウンロードできます。管理端末の任意のフォルダへ保存します。

3 2 . リストア

- ・ 設定情報のリストアは、バックアップと同一ページより行います
- ・ Backup/Restore ページより「restore」をクリックするとファイル選択ページが表示されます。



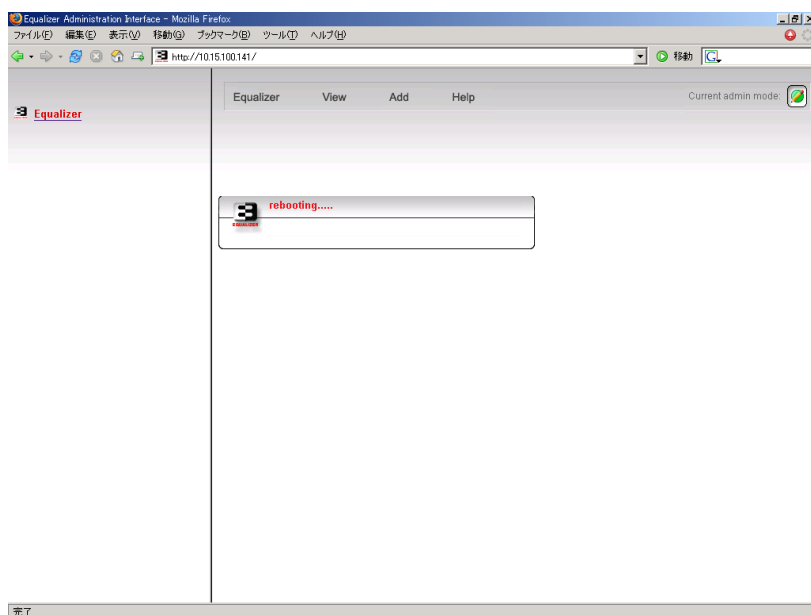
- ・ 「参照」をクリックし、管理端末内の設定ファイルを参照して「開く」をクリックします。



- ・ [Restore file]に、選択したファイルが入力されているのを確認後、[Go]をクリックします。

## 2 . リストア ( 続き )

・ クリック後、Equalizer が再起動します。



再起動には 5 分程度かかります。  
再起動後に継続して設定を行う場合、一端ブラウザを終了し、再度 Equalizer へアクセスします。

